

自立生活援助について

自立生活援助とは

障害者支援施設やグループホーム、精神科病院等から退院・退所して自立した生活を営む障害者、単身等であって自立した日常生活を営む上での各般の問題に対する支援が見込めない状況にある障害者に対して、一定の期間の中で自立した地域生活を継続していけるよう、理解力や生活力を補う観点から必要な支援を行うサービス

自立生活援助の支援手順

- (1) 自立生活援助計画の作成、評価
- (2) 概ね週に1回以上、少なくとも月に2回以上の定期居宅訪問
- (3) 利用者から相談・要請時の訪問等による随時の対応
- (4) 利用者の心身の状況、環境、日常生活全般の状況把握
- (5) 必要な情報の提供、助言、相談、同行による支援
- (6) 関係機関との連絡調整
- (7) 利用者又は家族等との常時の連絡体制の確保
- (8) その他地域における自立した生活を営むために必要な援助

自立生活援助の留意事項

- 支給決定期間は1年間。
延長は、審査会の個別審査で、必要性が認められる場合
- 3か月に1度のモニタリング
- 開設できる事業所は、障害者支援施設、グループホーム、指定特定・指定一般相談事業者の指定事業所に限る

人員体制

従業者	要件
サービス管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数30人以下 1名以上 ・利用者数31人以上 1名+利用者数30人を超えた部分は30人ごとに1名（端数切り上げ）
地域生活支援員	事業所ごとに、1名以上

※同一の利用者に対して、サービス管理責任者と地域生活支援員との兼務も可
 ※業務に支障がない限り、他事業との兼務可（指定特定／一般相談支援との兼務は、業務に支障がない場合として認められる）

基本報酬

区分	地域生活支援員1人あたり利用者数		説明
自立生活援助サービス費	(Ⅰ)	30人未満	30人以上 退所又は退院や急遽一人暮らしになってから1年未満の利用者
		1,558単位／月	
	(Ⅱ)	30人未満	30人以上 上記以外の利用者
		1,166単位／月	
			817単位／月

加算①

加算名		単位数	説明
初回加算		500単位／月	利用開始月に算定
同行支援加算		2回以下500単位／月 3回750単位／月 4回以上1000単位／月	利用者の外出に同行し手続等の支援を行った月に算定
福祉専門職配置等加算	(Ⅰ)	常勤の地域生活支援員のうち、資格保有者が35%以上	常勤の地域生活支援員のうち、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師の資格保有者の割合により算定
	(Ⅱ)	常勤の地域生活支援員のうち、資格保有者が25%以上	
	(Ⅲ)	地域生活支援員のうち、常勤職員が75%以上又は勤続3年以上の常勤職員30%以上	

加算②

加算		単位数	説明
緊急時支援加算	(Ⅰ)	711単位／日	利用者又はその家族等からの要請に基づき、深夜(午後10時から午前6時までの間)に訪問または一時的な滞在による支援を行った場合 地域支援拠点等の場合、さらに50単位加算
	(Ⅱ)	94単位／日	利用者又はその家族等からの要請に基づき、深夜(午後10時から午前6時)に電話による相談援助を行った場合
日常生活支援情報提供加算		100単位／回	精神科病院に通院する利用者の必要な情報を当該精神科病院に提供した場合に加算

加算③

加算名	単位数	説明
ピアサポート体制加算	100単位／月 体制加算	ピアサポート研修を修了した障害者及びその他の従業員を配置している
居住支援連携体制加算	35単位／月 体制加算	居住支援法人や居住支援協議会と連携体制を確保し、情報共有する場を設定する
地域居住支援体制強化推進加算	500単位／月	居住支援法人と共同して、居住に関する説明及び指導を行い、その課題を協議会等に報告する